

## 令和7年度 台東区区民文化財指定及び台帳登載について

### 【台東区区民文化財指定】

#### 有形文化財（絵画）

- |                         |     |             |
|-------------------------|-----|-------------|
| 1 板絵著色雲龍図（天井画）<br>横山大観筆 | 1 面 | 〔宗教法人 下谷神社〕 |
|-------------------------|-----|-------------|

### 【台東区区民文化財台帳登載】

#### 有形文化財（彫刻）

- |            |     |            |
|------------|-----|------------|
| 1 銅造地藏菩薩立像 | 1 軀 | 〔宗教法人 寛永寺〕 |
| 2 木造神馬立像   | 1 軀 | 〔宗教法人 浅草寺〕 |

#### 有形文化財（考古資料）

- |                                      |    |            |
|--------------------------------------|----|------------|
| 1 上野忍岡遺跡群－東京国立博物館管理棟（仮称）地点－出土寛永寺関連資料 | 一括 | 〔台東区教育委員会〕 |
|--------------------------------------|----|------------|

#### 有形文化財（歴史資料）

- |                                       |     |            |
|---------------------------------------|-----|------------|
| 1 石造福智六地藏<br>附 六地藏菩薩碑、弘法大師真影碑、<br>大師堂 | 1 基 | 〔宗教法人 世尊寺〕 |
|---------------------------------------|-----|------------|

#### 無形民俗文化財

- |                |  |               |
|----------------|--|---------------|
| 1 浅草寺歳の市（羽子板市） |  | 〔東京歳の市羽子板商組合〕 |
|----------------|--|---------------|

### ○台東区区民文化財指定

台東区区民文化財台帳に登載した文化財のうち特に貴重な文化財について、台東区文化財保護審議会の審議を経た上で、台東区教育委員会が指定する。

### ○台東区区民文化財台帳登載

台東区の歴史・文化を理解する上で必要な文化財について、台東区文化財保護審議会の審議を経た上で、「台東区区民文化財台帳」に台東区教育委員会が登載する。

※令和7年度末 台東区区民文化財台帳登載件数266件、うち指定件数72件

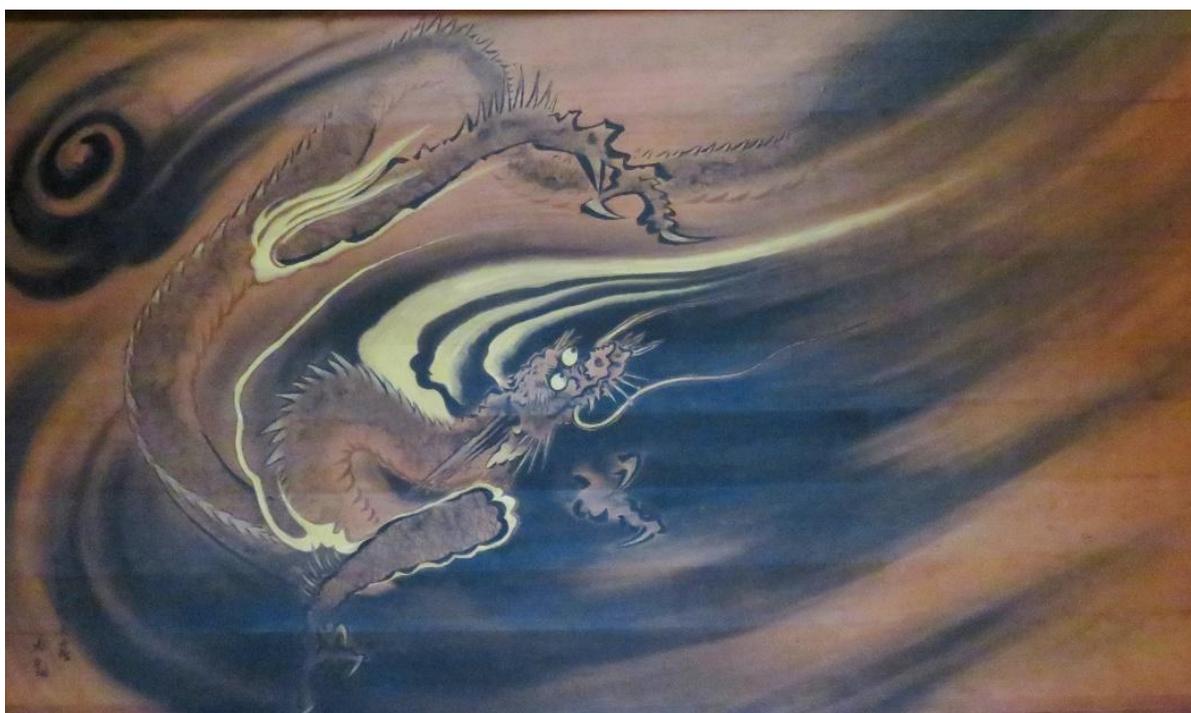
いたえちやくしよくうんりゅうず てんじょうが よこやまたいかんひつ  
板絵著色雲龍図（天井画） 横山大観筆

1. 区分及び種別 台東区指定有形文化財（絵画）
2. 名称及び数量 板絵著色雲龍図（天井画） 横山大観筆 1面
3. 所在地 台東区東上野3丁目29番8号 下谷神社
4. 所有者 宗教法人 下谷神社
5. 寸法 縦174.0cm×横296.0cm
6. 時代・年代 昭和9年(1934)
7. 作者 横山大観(1868～1958)
8. 品質・形状 板絵（スギ材）著色
9. 内容

下谷神社は台東区東上野に鎮座する古社である。本図は、関東大震災で被災した社殿の再建に際し、氏子一同の依頼に応え、昭和9年（1934）に横山大観によって拝殿天井に描かれた雲龍図である。

10. 指定理由

龍図は中世以降、寺社の主たる建物の天井画として盛んに描かれてきた。本図は、昭和9年（1934）に下谷神社の拝殿に描かれた横山大観による龍図であり、平成12年に台東区区民文化財台帳に有形文化財（絵画）として登載された。制作に至るまでの記録が詳細に残り、地域の信仰を考える上で貴重である。本龍図には、横山大観の典型的な龍図の特徴が認められ、大観の画業を知る上でも重要である。



雲龍図（天井画）

どうぞうじぞうぼさつりゅうぞう  
銅造地蔵菩薩立像

1. 区分及び種別 台東区有形文化財（彫刻）
2. 名称及び数量 銅造地蔵菩薩立像 1 軀
3. 所在地 台東区上野公園2番1号 不忍池弁天堂
4. 所有者 宗教法人 寛永寺
5. 寸法 像高 157.0cm 髮際高 148.2cm
6. 時代・年代 享保3年（1718）
7. 作者 宇田川善兵衛藤原重賢
8. 形状

円頂。髮際線、白毫相、三道をあらわす。耳朶環状（貫通）。大衣、右肩に懸かる衣、裙をつける。正面を向き、右手は垂下し、五指で錫杖（銅製、新補）を執る。左手は仰掌し、五指を軽く開いて宝珠（別鑄）をのせる。軽く足を開き、左足をわずかに出して立つ。

9. 品質・構造

銅製鑄造。頭部は一鑄。体幹部は前後肩先で別鑄、合わせ矧。両肩袖は左右ともに内・外別鑄矧ぎ合わせとする。両手は別鑄の上、袖内に鑄くるめる。足先は別鑄の上、体幹部に鑄くるめる。

10. 台帳登載理由

本像は、像本体や台座に刻まれている銘文から、奉納者、造立趣旨、制作者、制作年代などを知ることができる。本像を制作した宇田川善兵衛重賢は、3代にわたって活躍した江戸を代表する鑄物師であるが、失われた作例も多い。本像は江戸を代表する鑄物師の作風を伝えるものとして貴重な遺品であり、江戸時代の鑄物師について考えるうえで基準となる作例の一つである。また、江戸中期の信仰、宗教活動を知るうえでも重要である。



銅造地蔵菩薩立像

もくぞうしんめりゅうぞう  
木造神馬立像

1. 区分及び種別 台東区有形文化財（彫刻）
2. 名称及び数量 木造神馬立像 1 軀
3. 所在地 台東区浅草2丁目3番1号 浅草寺
4. 所有者 宗教法人 浅草寺
5. 寸法 総高(耳から地付きまで) 154.2 cm 奥行(鼻先から尾まで) 179.9 cm  
台座 69.0×144.2×10.0 cm
6. 時代・年代 鎌倉～南北朝（14世紀）
7. 作者 不明
8. 形状

日本原種の馬の特徴を的確に捉え、破綻のない馬体を表す。両目に玉眼をはめ込む。たてがみは十四の房で表し、長い尾を持つ。

9. 品質・構造

木造寄木造り彩色。馬体の表面に黒漆を塗り、白土地を施した痕が確認できる。

10. 台帳登載理由

本像は、鎌倉から南北朝に造られた木造の神馬立像である。馬体はほぼ原寸大であり、写実性が高く大型で他に類例を見ない貴重な作である。また、浅草寺絵馬扁額群の前史を考える上でも重要である。



木造神馬立像

うえのしのぶがおかいせきぐん とうきょうこくりつはくぶつかんかんりとう かしょう ちてん しゅつど  
上野忍岡遺跡群-東京国立博物館管理棟（仮称）地点-出土

かんえいじかんれんしりょう  
寛永寺関連資料

1. 区分及び種別 台東区有形文化財(考古資料)
2. 名称及び数量 上野忍岡遺跡群-東京国立博物館管理棟（仮称）地点-出土寛永寺関連資料一括
3. 調査地 台東区上野公園 13-9
4. 所有者 台東区教育委員会
5. 時代・年代 17世紀前半～19世紀後半
6. 内 容

本資料は東京国立博物館管理棟（仮称）建設に伴い、平成28年から29年の発掘調査で出土したものである。

資料としては、幕府御用窯の高原焼、瀬戸助焼などが挙げられる。高原焼と瀬戸助焼は、江戸幕府御用窯として上流階級の需要の下につくられたもので、希少価値の高いものとなっている。その他の遺物についても精緻な製品が多く見つかっている。完形品は少ないが、口径が復元できる遺物も多く、特に瓦は、軒丸瓦・軒棧瓦など、文様で年代の特定ができる資料が多くみられる。中には、寛永寺創建前につくられたものもあるが、寛永寺関連の建物に使用されたものであるため、今回の一括資料に含めることとした。

いずれも、将軍家菩提寺としての寛永寺の性格をよく表している資料となっている。

7. 台帳登載理由

本資料は、寛永寺の特殊性を明らかにするとともに、大掛かりな土地利用の変遷を知ることができる。高原焼や瀬戸助焼などの特別な焼き物の出土も含め、将軍家菩提寺としての寛永寺の特徴を表すものとして、台東区の寺院の歴史を知るうえでも貴重である。



高原焼と瀬戸助焼



100号遺構出土瓦

せきぞうふくちろくじぞう つけたり ろくじぞうぼさつひ こうぼうだいししんえいひ だいしどう  
石造福智六地藏 附 六地藏菩薩碑、弘法大師真影碑、大師堂

1. 区分及び種別 台東区有形文化財（歴史資料）
2. 名称及び数量 石造福智六地藏 1基  
附 六地藏菩薩碑 1基、弘法大師真影碑 1基、大師堂 1棟
3. 所在地 台東区根岸3丁目13番22号 世尊寺
4. 所有者 宗教法人 世尊寺
5. 寸法 総高 206.4cm 碑高 108.9cm 碑幅 82.2cm 碑厚 20.9cm
6. 時代・年代 文久3年（1863）
7. 作者 願主 村田市兵衛、書（本碑裏面） 東叡山浄名律院苾芻堯完、  
書（台石） 世尊寺第15世永義、画 9代神田宗庭要信

8. 台帳登録理由

本碑は、村田市兵衛を願主として、世尊寺に造立された一石六地藏である。本碑および台石の銘文によると、当寺15世の永義や東叡山浄名院の堯完も造立に関与しており、周辺の碑や大師堂とともに、当寺の歴史や寛永寺とのかかわり、幕末における区内の歴史を知るうえで重要な資料である。さらに当時の庶民の信仰について知るうえで、また寛永寺の絵所である神田宗庭の幕末における活動について考えるうえでも、貴重である。



大師堂  
六地藏菩薩碑（左）  
弘法大師真影碑（右）



石造福智六地藏

せんそうじとし いち はごいたいち  
浅草寺歳の市（羽子板市）

1. 区分及び種別 台東区無形民俗文化財（風俗慣習）
2. 名 称 浅草寺歳の市（羽子板市）
3. 伝 承 地 浅草寺境内とその周辺
4. 保 持 団 体 東京歳之市羽子板商組合
5. 台帳登載理由

浅草寺歳の市は江戸時代から浅草寺境内とその周辺で続いてきた歳末の市である。江戸・東京における代表的な歳の市として、正月用品や縁起物、日用品などを求める人々の需要に応じてきた。現在は東京歳之市羽子板商組合の主催により、浅草寺境内において主に贈答・鑑賞用の押絵羽子板を販売する市として定着している。江戸時代以来の歳の市が存続する事例として貴重である。



歳の市風景（2024年）